

1 **かねた 金田ふれあい公園**



稲作が盛んだった頃、かんがい用の堤があったが、果樹園栽培に転換し設備も整いその役目を終えた。現在は憩いとふれあいの場として活用されている。

2 **かねこじゅうえもん いとくけんしょうひ 金子重右衛門遺徳顕彰碑と金重大明神**



米を税として納めていた寛政4年、当時の代官が不正な税の増徴により民を苦しめた「太枳事件」があった。金子重右衛門は三沢重右衛門、鮎沢勤兵衛とともに直訴し反逆罪で処刑されてしまった。彼を「金重大明神」として祀る祠がある。

3 **のざわけ 野沢家の歌碑**



俳人・野沢一昇の辞世句。「多々ならぬ 空や梅にも 家内善喜翁」向かいの野沢家は糸工場の名残あり。

4 **かざま じせん じせい くひ 風間自仙辞世句碑**



「飛と来来てひとりかへるそ雪の暮」風間其柳（風間自仙）という俳人がこの辞世句を死にあたり詠み、その後門下生により歌碑が立てられた。

5 **お地藏さん**



地元の住民に愛されている。

6 **七五三石（しめいし）交差点**

「七五三石」交差点の名前は浅間神社の七五三縄を飾る石柱があったことに由来します。

7 **ふるやたんせい し せいこうひ 古屋端正氏 成功碑**



古屋端正は大醸造家であった。一宮町田中より七五三石に通る道路の建設や一古酒造の開業技術改良、女子師範学校の敷地寄付など…地域の発展に貢献した。

8 **かねやまじんじや 金山神社**



金山彦命を祀る、静寂でどこか懐かしい神社である。

9 **のざわはじめ せいいたんち 野沢一 生誕地**



詩人・野沢一の生家だった場所。（現在は矢崎家）

10 **どうぞじん 道祖神**



寛延2年に建てられた一宮町で2番目に古い道祖神。

11 **きっしょうじ 吉祥寺**



町内外の人々に信仰されている。武運長久祈願の修験の地として建てられた。

12 **どうぞじん 道祖神**



13 **さいうんじ 西運寺**



正式名称「金永山月公院西運寺」住職は30世斉藤春隆。庭の入口から入って左側に金子重右衛門のお墓がある。8月18日に慰霊法要を行う。

地域再発見 一宮町金田・本都塚
ウォーキングマップ



1 **くまのじんじや 熊野神社**

本都塚・北都塚（一区だった）地区の氏神で、祭神は伊弉諾命、伊弉册命。右奥には道祖神（社も）、文殊菩薩（通称おもんじんさん）が合祀される。



2 **はぎわらももえ 荻原元克の墓碑**

国学者 荻原元克は本居宣長の門弟の一人で十指に数えられる。甲斐の庶民に大きな影響を与えた。



3 **こかげさん ぼとうかんぜんん 蚕影山と馬頭観世音**

蚕影山 蚕の供養、養蚕の繁栄を祈願する。

馬頭観世音 馬への感謝、旅の安全、豊穰を祈願する。



4 **じょうせんじ みやこほいくえん 浄泉寺（都保育園）**

第六世 浮鼎（ふてい）和尚は熊野神社の石垣を築いた怪力だったとの言い伝えがある。浄土真宗で、ご本尊は阿弥陀仏。

